

3 健康づくりの推進について

- ①フレイル予防を介護予防の一つと捉え、低栄養防止・筋力の維持・社会参加の取り組みを検討すること。
- ②認知症徘徊者を早期発見するための居場所発見機器について再検討を行い、「徘徊探索支援サービス」の利用者数増加に努めること。
- ③生活習慣病予防を推進するため、健康を保つための行動の意識啓発に努めること。また、特定健康診査及び各種がん検診の受診率向上に努めること。

文教環境委員会

1 学校施設の複合化について

- ①各部局が連携し、学校施設の複合化についての本市の考え方を明確にした上で、学校施設に何が集約できて、その地域に何が必要かを把握、検討すること。
- ②公共施設マネジメントとの整合性、また、人口動態を想定し、少子化に対応した学校の統廃合、小中一貫教育についても検討すること。

2 図書行政について

- ①図書館を充実させるため、司書の増員、図書館へのアクセス整備、また他施設との複合化について検討すること。
- ②各地域で図書に親しむ環境の充実を図り、図書に触れる機会を増やすこと。
- ③図書館運営のICT化を、鈴鹿市立図書館サービス方針に沿って進めること。



市立図書館
「おはなしのへや」

産業建設委員会

1 住民主体の地域公共交通について

- ①地域づくり協議会等、住民が主体的に協議する場を活用して、公共交通に対する住民の当事者意識の醸成に努めるとともに、デマンドタクシー等の新しい公共交通の実証実験を早期に実施し、地域のニーズに合致した公共交通の実現を目指すこと。

2 (仮称)鈴鹿PAスマートICの開通を契機とした地域の活性化について

- ①鈴鹿産農産物の流通を活性化させるために、農業者の確保・育成・指導等のサポート体制のさらなる充実を努めること。また、6次産業化に関する取り組みを検討、推進すること。
- ②(仮称)鈴鹿PAスマートIC周辺の輸送環境を改善するための道路整備を計画的に実施すること。また、当該インターチェンジ周辺の国道・県道の整備を求める要望活動をより積極的に推進すること。なお、整備の検討に当たっては地域住民と十分な協議を行うこと。
- ③(仮称)鈴鹿PAスマートIC周辺の企業誘致に当たっては、当市の産業特色に合致した企業を選定し、早期の企業誘致の実現に努めること。



コミュニティバス
C-BUS